

## 南海療の玉ねぎ苗

毎年、皆様にはご愛顧頂きありがとうございます。

例年通り4種類の販売です。事前に電話にてご注文頂くとお待たせする事無くご準備できますのでよろしくお願ひします。

今年も皆さんに喜んで頂けるよう利用者の皆さんも頑張っておられます。無くなり次第販売終了になる品種もあり、ご希望に添えない事もありますのでご了承下さい。

ご協力宜しくお願ひ致します。

## 11月より販売開始

★早生                      ★中生

★サラダ                    ★赤

期間：11月1日～11月18日

【無くなり次第終了です。】

金額：50本 250円    100本 500円

お電話でのご注文随時受け付けております！

TEL 0969-23-3850    FAX0969-22-4977

## 現場から

### Kさんとのリハビリ奮闘記

作業療法士 江浦 遼

「自分はKさんに何をしてあげられるのだろうか…」猛威を振るったコロナウイルススクラスタが落ち着いた6月下旬。Kさんが脳梗塞による右半身麻痺を発症され、1カ月の入院となりました。退院して来られるまで、どんなアプローチを施すか常にイメージし「わかりやすく訓練の意図を汲み取ってもらうためにはどういう声掛けが良いだろうか」と不安になる時もありました。

いざ退院の日を迎えると飛び込んできたのはKさんの笑顔でした。慣れ親しんだ南海寮の利用者さんや職員と挨拶をかわし、とても嬉しそうにさ

組まれており、今では私を見るとすぐに立ち上がり、リハビリに向かおうとされます。

退院後そんなKさんの努力もあって、食事を麻痺が残る右手にスプーンを持って摂る事ができる様になり、歩行も今では職員が支える事無くスムーズに歩いておられます。最近では、外も涼しくなり歩行のレベルアップを兼ねて運動場を歩く時間も設けています。Kさんの担当職員にも協力を仰ぎ、日々自分が個別で対応する時間以外にもリハビリができるよう、取り組んで欲しいことやポイントを伝え、また理学療法士にも定期的な身体状況を確認してもらおう等共有を図りながら進めています。

大好きなブラックコーヒーを楽しみしながら、日々努力されているKさんとのリハビリは私自身も楽しみにしている時間です。発症されてから3か月が過ぎましたが、これからも日々努力し回復される過程を、全力でサポートしていききたいと思います。



## 現場から

### 新人職員研修会

生活支援員 井上 千恵美

7月26日に新人職員を対象とした虐待研修会を行いました。施設内でも全体研修として一年に3回虐待関連の研修を行っています。今回の研修は虐待防止に対する基本的な事を新人職員の方と再確認する為の場として企画しました。まず、虐待と身体拘束についての動画を視聴してもら

グループ討議では動画を視聴しての感想や日頃支援をしているの気持ちや自由を話してもらいました。実際の支援現場でこのような時はどう支援したら良いのか？声掛けや対応に悩んでしまう時がある等の意見が数多くありました。質問に対しては数名の先輩職員よりの確かなアドバイスや助言をしていただきました。この研修を通し新人職員の方の日頃思っている悩みや不安を聞く良い機会となりました。

いました。その中で現場にて最も取り得ると言われているのが虐待の5つの累型の中という「心理的虐待」です。いくつかの事例があり、何気なく声掛けしている事や支援の際に相手の方が不快に感じたり、嫌な気持ちになったりしたら、これも心理的虐待となってしまう事がある等詳しく解説がありました。次に身体拘束についての解説と、身体拘束がやむを得ず行われる場面はどういう時か、どのような対応が必要か等詳しい説明がありました。

私達は日々現場にて利用者さんと関わる中で、いくつもの困難事例や難しい支援に直面します。そのような時にどのような支援が効果的なのか、声かけやはたらきかけをどうしたら良いのか迷う事がたくさんあると思います。声掛けや対応一つで、情緒不安定になったり、不快に感じられたり、行動上の問題が表出したりします。虐待に繋がらないような支援を行う事が当たり前ですが、このような研修を通して日頃の支援を振り返り考える事が虐待をなくす第一歩でもあると思います。私も研修を企画させてもらうことで学び直しが出来、良い経験と勉強となりました。

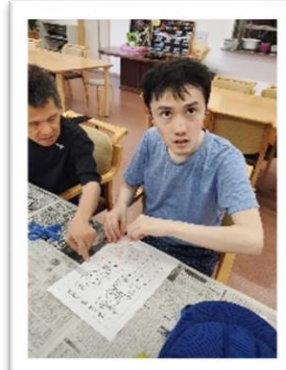
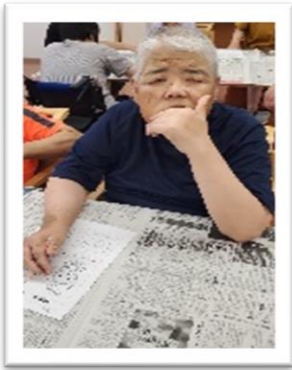
れているなと感じました。

# 室内活動だより

## 合同学習会～カレンダー作成



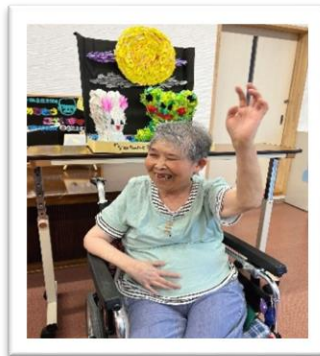
どんな色がいいかな？



## お月見写真撮影



折り鶴で作りました



月見でニッコリ

## 秋祭り

わっしょい! わっしょい! いい笑顔(^\_^)



# 給食だより



粗きざみ



きざみ



一口大



ミキサー食



常食



ソフト食

「人生最後の食事、あなたなら何を食べたいですか。」  
人生において、食べること＝生きることであり、私たちの生命維持のために最低限必要な行動であり、本能です。その最低限の食べるという行為が、侵されてきた時、私たちはどう対応したらいいのでしょうか。命ある生命として誕生した以上、老化という現象は避けることができません。南海寮でも高齢化問題が年々顕著になっていきます。食事に関しても、高齢化による咀嚼嚥下機能低下に加え、障害が故の咀嚼不十分、詰め込み、早食いなど様々な問題点がみられます。そういった問題点に対応した結果、食事形態は上記のようになりました。

現在南海寮では栄養ケアマネージメントに取り組んでいます。食事摂取状況や体重、血液検査結果からスクリーニングし、栄養状態をアセスメントします。そこで、各々に適した食事内容を決定します。日々変化していく利用者の食事摂取状況や栄養状態に対応し、適した給食を提供することを目的としています。

昨年よりソフト食も導入しました。ソフト食とはミキサー食を更にゼリー化した食事形態です。専用の粉を入れてミキサーにかけ、冷やし固めます。ミキサー食よりも嚥下機能が低下している方に食べていただき、誤嚥性肺炎の予防に効果がみられています。また、汁物は具と汁を上手に分けて食べることができない人には具なしの上澄みを、汁物やお茶などの液体でむせる方にはとろみをつけています。とろみの程度も人によって適した粘度が違うので食事介助をする人に微調整も行ってもらっています。好き嫌いに対しては代替品にて対応しています。個人対応が多く、食札にはびっしりと食事内容が書いてあり、覚えるのも一苦労です。

利用者個々に応じた食事内容にすることで、生活がより良いものになって欲しいという想いを常に持って給食を提供しています。

誰もが迎える老い・・・高齢化社会の中で、食べることさえも困難になってくる。そんな中でも創意と工夫をし、最後まで楽しんで食べる事を諦めない姿勢でいたいと思います。

現在、利用者個々の食事形態は複雑化してきている状況です。高齢化、体調不良、歯の欠損等で食事摂取が困難になる方や、むせやすい方、またはかきこみすぎる方、スプーンにのりやすい大きさにしなければならぬ方と様々です。常にそれぞれの方の状態を見極め、見直しを行い、調理員として「安全で喜んでいただける食事」の提供に努めています。そして食べた後に笑顔になるような美味しい食事作りを目指したいと思います。



# 熊本学園大学の学生さんが実習に来られました

ソーシャルワーク実習を終えて…



社会福祉学部 ライフ・ウェルネス学科

川原 良介

今回、実習の機会を設けていただきありがとうございました。最初は利用者の方に受け入れていただけるか心配でしたが、自己紹介の時に笑顔で受け入れてくださり少し安心しました。

初めの頃はあまり会話ができませんでした。実習を重ねるごとに利用者の方との会話も弾ませていくことができました。少しずつコミュニケーションを取ることで利用者の方と信頼関係を築くことができましたと思います。

この実習の中で学んだ事は、コミュニケーションの大切さと信頼関係の大事さです。コミュニケーションは日頃多くの方がやっていることだと思いますが、雰囲気作り方や、傾聴、視線、受容など多くの事を日々利用者の方々と接することで学ぶことができました。また、信頼関係は利用者の方を支援するために大事で信頼関係がないとよい支援を行うこともできません。利用者の方だけでなく、家族や役員、地域住民の方々でも信頼関係がないと成り立っていかないと学びました。23日間という短い期間ではありましたが、多くの人と関わり、貴重な経験を積み、学びのある日々を過ごすことができました。今後この経験を忘れずに、日々の生活に活かしていきたいです。ありがとうございました。



社会福祉学部 第一部社会福祉学科

福田 麗奈

実習当初、利用者さんとのコミュニケーションの取り方が分からず戸惑っていましたが、勇気を出して自分から話しかけることで、徐々に心を開いてくださり、気づけば利用者さんから話しかけてくださるようになりました。個別支援計画の作成に協力いただいた利用者さんとは、一緒に作業や活動をしたり、面談でのニーズの聞き取りなど多くの関りを持たせていただきました。食事を残す事が多いその利用者さんに対し、私が食事を勧めると、普段よりたくさん食べてくださったことがあり、日々の関わりを通して良い援助関係が築けたように感じました。

また実習中は施設内での会議にも多く参加させていただきました。個別支援検討会では多職種での支援内容の評価、検討が行われていました。利用者さんのニーズや課題に対し、支援内容を考えていくには、多くの視点が必要であり、実際の支援においても個別支援計画をもとにチームで支援を行っていく、チームアプローチの重要性を学ぶことができました。

今回のソーシャルワーク実習で学んだことを活かして社会福祉士になるために一生懸命頑張りたいです。23日間本当にありがとうございました。



## 自然災害に備える～防災・減災のための道路新設工事～

令和2年度の社会福祉充実計画に基づき、自然災害発生時における事業継続力強化を目的とした道路の新設工事を行っております。場所は施設の真下を走る天草空港線（県道334号）沿いです。

現在、法人本部である施設へ出入りする経路は1本しかありません。その1本道も地滑りや土石流などの土砂災害で道が塞がれた場合は、外部から完全に遮断されてしまい、いわゆる「陸の孤島」となってしまいます。有事の際、進入経路や避難経路、ライフラインを確保するために、施設への経路をもう1本整備する工事です。現在は伐採などの土木工事が行われております。工事は来年3月頃に竣工する予定です。近隣の方や県道を往来される方にはしばらくの間、ご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解の程お願い致します。

## あいむだより

### 8/18(木) アイスクリームの日

最近よく耳にする「映え」を意識し、オリジナルカップ作成やデコレーションにも力を入れ、映えるアイスになるよう工夫してみたり、フォトブースを設け映え写真にも挑戦してみました！「可愛い」「食べるのもったいない」等の声も聞こえておりましたが、皆さんアイスクリームを食べ終わるのはあつという間でした（笑）



### 9/13(火) お団子の日

「お団子の日に食べる団子は何がいいかな？」皮から透ける芋が月に見える？黒いあんこが夜空で…と、熊本名物「いきなり団子」に決定！当日、いきなり団子にした理由を皆さんに説明させて頂きました。自宅に帰ってからご家族に行事の話をして下さった方がおり、「芋が月に見えるよね！」とお団子のお話を自信満々に話す姿に家族で大爆笑でした。と翌日の連絡帳にほっこりとするコメントがありました。当日利用者さんに楽しんでいただく事がもちろん最大の目的ですが、ご自宅での楽しい会話にも繋がっている事を知り、嬉しく思った出来事でした。

